



# 宇津木台 森遊会 実施報告

## 「第11回定例活動」「第5回市民講座」

No.2012-11

実施日	2013年2月24日(日) 10:00~14:30	天候：晴れ	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：12名(男性8(うち子供1)、女性4) 平家、衣川、後藤、細野、田原、田中、初田、奥山(史)、奥山(孝)、伊東、深津、諸岡 インストラクター：武本氏(神奈川県森林インストラクター)、金森		

### 実施内容

活動2年目の第十一回目。市民企画事業「宇津木の森再生プロジェクト2012」の第五回を兼ねる。この冬最大の寒波が到来したこの日は北風が強かった。北風は寒さだけでなく鳥たちにも影響した。オリンパス技術開発センター宇津木に10時集合。鳥の専門家、武本インストラクターを紹介する。双眼鏡を貸し出し、巣箱を掃除するための脚立を持って出発、緑地の中で鳥の祖先などの話を聞く。6か所にある巣箱を順次開けてゆく、これらの巣箱は一昨年の冬に組み立てて設置、昨年春に5組のシジュウカラが利用した、昨年夏に巣材を取り出したが、今回春を迎えるにあたって掃除しておくもの、夏以降に鳥が利用したようで糞が溜まっていた。糞は床にこびり付いて掃除しにくいので巣材は春を迎えるぎりぎりまで取り出さない方が良い。唯一利用されなかった竹林の巣箱は雑木林に移動させた。午前中の緑地は風が強く鳥は全く現れなかった。カラス、トビ、キジバトなど大型の姿が観られた。とにかく寒いのでセンター宇津木駐車場の日なたで昼食をとる。午後は歩いて10分、多摩川に出発。多くの水鳥は勿論、コゲラやシジュウカラ、メジロ、スズメなどが出迎えてくれた。武本インストラクターから羽根標本を見せていただきながら、フィールドスコープで観る水鳥に迫力を感じた。望遠レンズを持った参加者が多く、思い思いに連写していた。風が冷たいので早めに戻る。次回、OSO(Olympus Symphony Orchestra)森のコンサートの案内をして14:30に解散。



雑木林で聞く鳥の話



真冬の椎茸は色が白い



鳥がなかなか出てくれない



巣箱の中を掃除する



徐々に風が止んできた



お昼休みに集合写真



地元の庭先に立派なしだれ梅



多摩川で水鳥を観る

### 連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットはなし。

- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋は、小1個を宇津木台行きバス通りに面した入口に置く。
- ・次回は、3月24日、森のコンサートを予定する。